

オ

ピ®

ニ

オ

シ

OPEN-ZONE

アフターコロナに向けての取り組みを継続

甲府ホテル旅館協同組合 理事長 青柳 文人氏
(株)ホテルニューステーション 専務取締役



当組合には、甲府市内のビジネスホテル、シティホテルから家族経営の旅館まで17社が加入しています。

新型コロナウイルスの感染拡大から約1年が経過しましたが、組合に加入しているホテル・旅館では、観光やビジネスを目的としたお客さんの減少、ブライダル関係の延期や中止、忘年会や歓送迎会での宴会等の自粛などで、売り上げが激減しています。GoToトラベルキャンペーンで業況は昨秋に一時的に回復傾向を見せましたが、2回目の緊急事態宣言の発令で首都圏から予約があった宿泊客のほとんどがキャンセルとなりました。

いまだ厳しい経営状況が続いていますが、安心・安全な施設として宿泊してもらうため感染予防対策について様々な工夫を行っています。特に、他県より厳しい基準とされている本県の「やまなしグリーン・ゾーン認証」制度では、組合としていち早く認証取得のための情報提供を行い、組合員の取り組みを進めました。また、朝食の際にお客さんが密に集まらないような時間配分や個別で食べられるシステムに変更するなどの取り組みについても、毎月の定例会や役

員会で積極的な情報交換を行っています。

参加者からは「衛生管理や感染予防対策について参考となる情報交換ができた。」「補助金の活用につながる情報収集ができた。」「組合に加入していて良かった」等の意見も出ているため、この取り組みを継続させたいと思います。

コロナウイルス収束の目処は不透明な状況ですが、4月以降の宿泊予約も少しずつ増えていきます。また、緊急事態宣言で県外へ行けないことから、例年と比べると県民の方の宿泊も増加しており、回復の兆しも見えてきました。

新年度がスタートしますが組合として、組合員ホテル・旅館の経営をサポートするためホームページで宿泊施設の紹介、経営改善に関する講習会、県内外の先進的な取り組みをしているホテル・旅館の事例研究を企画しています。新型コロナウイルス感染予防の衛生管理には終わりはありませんが、コロナウイルス収束後の本格的な営業のスタートダッシュに向けて、組合員一丸となって取り組みを継続していきたいと考えています。